

DX 探究未来塾（第1学年）各種講演会の生徒感想

◆演題「まちづくりは終わらない」6月11日(火)6・7限

【講師】羽咋市役所総務課 まちづくり課長 崎田 智之 氏

内容：産業・観光・JR七尾線等の必要性など羽咋市が抱えている問題を解決するに当たって様々な面からアプローチしている。また、過去にはイノシシによる農業被害の現状や、のとしし（能登産天然イノシシ）のブランド化に至る、捕獲から獣肉加工施設での精肉加工、道の駅等での販売までの一連の取組についても取り組んだ。崎田さんの講話していただき、地域づくりを実践していくための意欲を高める。

○生徒感想抜粋

- ・崎田さんの話を聞いて、羽咋はとても良い市だなと思いました。こんなにも市を大切に考えて良いまちづくりをしてくれる人がいると知ってもっともっと良い市になってほしいなと思いました。私達も羽咋高校生として地域探究トライアルキャンプで少しでも手助けができたと思います。
- ・様々な見方や考え方を駆使しながら物事を捉えたり課題の解決をしたりしていくことが大切だということがわかったので、様々な人と関わる機会や自分と異なる意見を大事にしながらより視野を広げられるように意識していきたいと思いました。
- ・自分たちで自分の町を変えることができることを知りました。今までは私は羽咋市に何の関係もないと思っていたけれど、今日のお話を聞いて、これからは地域について知り、地域の活動に積極的に参加しようと思いました。
- ・夏のキャンプが楽しみです。自然共生コースが面白そうだと思います。
- ・羽咋市が想像以上に様々な取り組みをされていて驚きました。高齢化や過疎化に少し興味を持ちました。
- ・羽咋には広めていくべき素敵なものがたくさんあると知りました。

◆講話「1年生DX講演会」6月18日(火)7限15：10～16：00

【講師】株式会社ベネッセコーポレーションエリア事業推進本部 北陸支社支社長
藤原 真二郎 氏：

内容：DX化が進んだ社会や、ソサエティ5.0とは具体的にどのような社会なのか、実現によって企業や人々がどのように変わっていくのかなど、現代社会を取り巻く環境について

○生徒感想抜粋

- ・これまで学校では「探究」とばかり言われていたけど、「探究」とは自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくことだと改めて確認することができました。私には将来の夢も、今したいことも何も思いつかないけどこの授業を通して、身の回りにある疑問を様々な観点からみて活用していきたいと思います。そして、自分が理

想な姿になれるよう、高校でたくさん勉強していきたいです。

- ・話を聞いて私が 1 番気を付けたいと思ったことは、大人になっても学び続けるということです。大人になって学び、進化して行く社会に置いていかれないようにしたいです。また、これから問題に気づける力と解決できる力を身につけて行けるようにしたいです。そのために常になんで？なぜ？という疑問を持ちながら生活していきます。
- ・自分の課題について深めていくには、調べて終わるのではなくそこからまた疑問に思ったことを深掘りし続けていくとわかりやすくなるということがわかった。また、これからの社会でより良い人材になるためにできることを自分で探していくことも大切だとわかったのでこれから意識していけるようにしていきたいなと思った。
- ・今日の講演を聞いて、これまでの社会とこれからの社会では全く違う種類の力が求められるということがわかりました。社会が変われば求められることも変わる。これからはどんどん変動していくであろう社会に対応できる柔軟性を身に付けていきたいと思いました。
- ・情報化によってどういうことが便利になるかリアルタイム翻訳の例もあったのでわかりやすく理解できた。また、日本は自己肯定感が低かったり、自国の将来についてあまり良いイメージを持っていないことから、そういうマイナスな面が世界の上位の企業数にも関係あるのかなと感じた。Society5.0 に向けて、まず自分なりに課題を見つけて、解決し、イノベーションを生み出していくことが大切だとわかった。その中で、自己との対話と仲間との協働を意識して、より良い自分の将来にしたい。
- ・これからの超スマート社会では単に頭脳明晰な人材が求められるだけではなく、発想力や想像力などの能力も求められる人材も問われる社会になっていくとわかった。そのためには、常に疑問を持つことや問題発見力を身につけ、その課題に対してどのように対応するかということが大切だとわかった。しかし、僕にはそんなことができるか不安だが、そういう能力を身に付けられるように日頃から物事に常に疑問を持つなどの簡単なことを始め、その力を定着させたい。
- ・テクノロジーをただ使うのではなく、自分の力をつけるために「使わない」という選択肢があることを知った。また、「自分は〇〇だ」と決めつけるのではなく、いろんな情報を収集していろんな方向から疑問を持つことが大切だとわかった。探究を通して、問題発見力などいろんな力を身につけて、いろんなことに疑問を持っていきたい。
- ・藤原さんの話を聞いて、社会で活躍できる人材になるためには自分の可能性を広げ、何事にも諦めずに取り組むことが大切だと思った。私は、人生を時計と見立てて「今はまだ夢を見て良い時間だからね」といつてくれた藤原さんを見て、こんな考え方もあるんだなと感心した。私も様々な視点で考えられる人になりたい。
- ・世界的に力をもつ企業の順位がガラリと変わっていたり、各国の人口が将来的に大きく増加したり減少したりすることが予想されていたりするなど近い過去や現在、未来で早く、大きな変化が起こっていることに驚きました。このような変化に対応することで現在も生き残っている富士フィルムはすごいなと思いました。世の中の変化を素早く汲み取り、

何をすれば生き残れるのかなどを考え実行し、成功させるのは容易にできることではなかったと思います。この変化の大きい時代で長く生き残っていくには状況を素早く正しく判断し、問題点を見つけ、柔軟な思考で解決策を見つけていくという力が必要であると感じました。

- ・学生ではなくなっても、学び続けていってどんな変化にも対応できるようにしたい。また、今後仕事では問題発見力が大事にされていくという結果が出ているので、いろんなことを経験する時間がある学生のうちにたくさんのことに挑戦して、その都度課題を見つけ、思考を柔らかくして解決していきたいと思った。常に変化していく時代に考えることを諦めず、疑問を持ち続けていきたい。